

平もち病（ツツジ類）

若葉の表面に、直径5mm前後の類円形、鮮黄色の斑点が1～数個形成される。のちに、この斑点はやや淡紅色を帯びる。葉裏の病斑部は、はじめ淡黄緑色で、やがて粉白色になる。これは葉裏に病原菌の菌体が現れたためである。

【病原菌】 *Exobasidium* sp.

【罹病樹種】 エゾムラサキツツジ、シロバナトキワツツジ

【発生地域】 上川，空知

【防除】

病斑の葉裏に形成された胞子が感染源になると考えられる。葉裏の病斑が粉白色になる前に罹病葉を摘み取り焼却するか、土中に埋める。



エゾムラサキツツジ平もち病